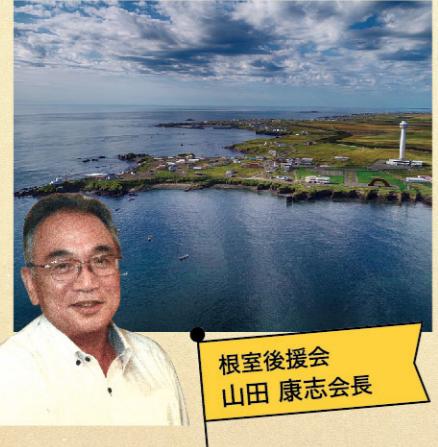


私たち 鈴木直道を 応援します!

後援会長から
各地の
一言!

全道各地の後援会を訪問し、地域の支援者との交流を楽しみにしている鈴木知事。昨年9月以降、洞爺湖町、登別市、白老町、新冠町、上砂川町、土別市、名寄市などを訪れました。根室市、北見市、渡島地域では新たな後援会を立ち上げていただきました。ご支援への感謝の思いを胸に、さらなる交流を重ねてまいります。

北方領土の問題を間近に抱える根室ですが、毎年足を運んでいただき、領土問題解決に向けた機運の醸成、情報発信への注力に感謝しています。若さ、素敵な笑顔、そしてフットワークの軽さに後援会一同期待しております。また根室にお越しを!



根室後援会
山田 康志会長

後援会との懇談では参加者の発言にじっと耳を傾け、私たち地域の声や課題をしっかりと受け止めてくれました。北見の農林漁業や経済界のみならず、後援会の女性部や青年部ともども、幅広い層でこれからも知事を支えていきます!



北見後援会
柏尾 典秀会長

知事の初当選時から活動してきた道南後援会ですが、今春、渡島管内全11市町すべてで後援会が発足することになりました。これからも一人でも多くの鈴木直道ファンをつくり、万全な体制と活発な活動で知事の政治活動を支えていきます!

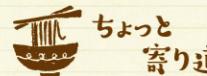


道南後援会
境 勝則会長

第二の故郷夕張

昨年12月に第二の故郷である夕張を訪問しました。皆さまが、まるで家族のように温かく迎えてください、思い出の地、思い出の味に触れることができました。また、4月には夕張市石炭博物館の模擬坑道が7年ぶりに再開し、早速現地を訪りました。

皆さまも是非訪れてみてはいかがでしょうか。



夕張の紅葉山にある「栗下食堂」の熱々のカレーそばは、炭鉱で働く人の味! あらゆる世代の皆さんに愛されるお店です。



↑夕張グルメの詳細はYouTubeへ!

大阪・関西万博で アイヌ舞踊が躍動!

大阪・関西万博を視察しました。会場では、道内外のさまざまな地域のアイヌの方々が伝統的な舞踊などを披露し、集まった観衆から大きな拍手を受けていました。万博を機に、アイヌ文化への理解が国内、さらには世界へと広がることを願っています。



HPは
こちらから
SNSで随時
情報配信中



政策から
プライベートまで、
オリジナル動画も
公開!



140文字で
いち早く
最新の情報をお届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを!



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真と
動画で掲載!

鈴木 直道

2025
SUMMER

Report Vol.11

[活力あふれる北海道の未来を実現する会報]
鈴木直道レポート 11号

ごあいさつ

今年は北海道にとって大きな好機を迎える1年となります。「エネルギー」「食」「観光」など多くのポテンシャルを有する北海道ですが、その重要性がますます高まっています。

ラピダス社の次世代半導体製造拠点の立ち上げがついに開始。また、農業やGXに関しては、北海道の優位性を国が認め、北海道が果たしていく役割が今後の政策方針のなかにしっかりと位置付けられました。

北海道、日本を取り巻く環境が大きく変化し続けるなかにあっても、道民の皆さまの命と暮らしを守り抜く。そして、日本の発展に北海道が大きく貢献し、あふれる夢と未来に向けた北海道づくりを進めていきたい。それが私の掲げるがね思いです。

これからも道内各地をくまなく回り、徹底した現場主義のもとで179市町村の強みを生かし、北海道の創生に取り組んでまいります。

成長する北海道

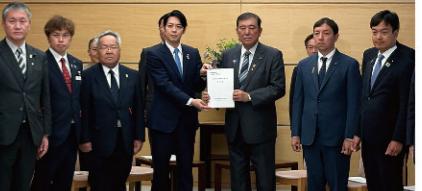


政策紹介

北方領土問題、墓参再開や啓発活動強化を石破首相に要請

北方領土の一日も早い返還に向け、北方墓参の再開や啓発活動の強化などを元島民の皆さんと一緒に石破茂首相に要請しました。

戦後80年を迎え、元島民の皆さんはすでにご高齢になられており、問題解決に一刻の猶予も許されません。北方領土の早期返還はもとより、北方墓参の早期再開、さらには大阪・関西万博の開催をきっかけとした国内外への啓発活動の強化など、今後も道民の皆さんと一緒に一丸となって問題解決に向けた国民世論の一層の喚起を図ります。



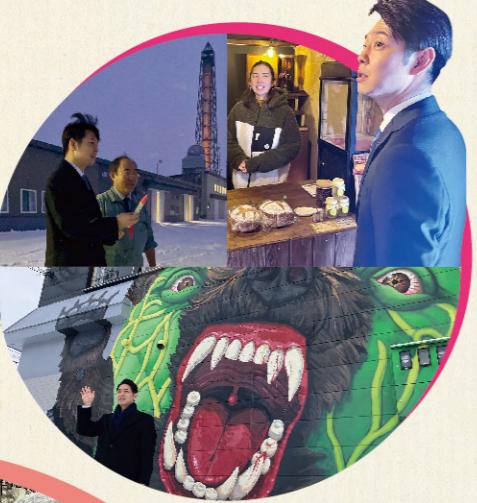
》胆振・後志エリア

●訪問地域:室蘭市、登別市、白老町、壮瞥町、洞爺湖町、
俱知安町、仁木町、泊村、赤井川村

》上川・空知エリア

●訪問地域:
士別市、名寄市、比布町、
愛別町、上川町、下川町、
砂川市、赤平市、夕張市、
上砂川町、長沼町

赤平市では「植松電機」を訪問し、
世界で3カ所しかないという国際宇宙
ステーションと同じ重力環境を地上で
作りだせる実験塔を見学。



》オホーツクエリア

●訪問地域:
北見市、佐呂間町、湧別町



》渡島エリア

●訪問地域:
函館市、鹿部町、七飯町、
北斗市、木古内町、森町

函館市では、子どもたちが学校や家庭以外
の「第三の居場所」として安心して過ごすこと
ができる一般社団法人「みかん箱」を訪問。



地域探訪 鈴木直道の 179市町村、おじゃまします!

地域での取り組みについて直接お話をうかがう「なおみちカフェ」などを通じ、鈴木
知事は全道各地を訪問しています。

昨年9月から足を運んだ数々の市町村では、農業、林業、漁業、観光などユニーク
な特色を活かし、地域の魅力を最大限に発揮されている各地の奮闘を拝見しました。



》日高エリア

●訪問地域:
日高町、新ひだか町、新冠町



》十勝エリア

●訪問地域:
帯広市、音更町、豊頃町、
浦幌町
豊頃町では、良質な受精卵生産や学
生への教育を通じ、北海道和牛の振興に
努める「武隈ブリーディングファーム」へ。

》根室・釧路エリア

●訪問地域:
根室市、別海町、中標津町、
釧路市、白糠町
北方領土での墓参再開が実現しない
なか、「せめて四島の近くで慰霊したい」
という元島民の皆さまの思いに少しでも
寄り添うため、海上慰霊を実施。

AIデータセンター起工「北海道にアジア最大級!」

ソフトバンク宮川潤一社長と鈴木直道知事が対談

ソフトバンクが4月、苫小牧市でAIデータセンター(DC)の建設を始めました。国内、かつアジア最大級規模で、道内の再生可能エネルギー100%での運用を目指します。北海道でのDC建設の意義、将来のビジョンについて2人が対談しました。



鈴木知事:DCについては宮川社長とずっとお話をしていました。いよいよ起工式と思うと感慨深いものがあります。

宮川社長:「日本のため、北海道のために北海道でつくりたい」と鈴木知事に相談したのは、もう5年ぐらい前ですね。

鈴木知事:ソフトバンクさんのスピード重視の取り組みを我々もサポートできました。AI向けDCとして国内最大級、アジア最大級。再エネ100%でやっていくことは、強いメッセージになりますね。

宮川社長:人間の脳の限界を超えたAI時代はもうすぐ。海外に依存せず、国内でデータ処理をするのは大事です。我々のフラグシップDCとしての位置づけが苫小牧です。

鈴木知事:北海道179市町村の課題解決していく生産基盤としての機能など、北海道にとってのプラスは大きいですね。

宮川社長:まさにそうです。AIはデジタル労働力です。AIとロボットが組み合わされば、農作業、害虫駆除、さらには観光地の整備もアップグレードできます。次世代の産業づくりを北海道が先頭に立ってやれる大チャンスです。

鈴木知事:北海道は再エネのポテンシャルが豊富で、土地もあり、半導体工場の建設など国内外からの投資も活発。厳しい世界的競争のなかで挑戦できればと思います。

宮川社長:東京や大阪に8割のDCが集中していましたが、地域で出るデータは地域のDCで加工し、地域のために使う。そんな「地産地消」の時代になると思います。

鈴木知事:新しい産業が世界に飛躍していくために挑戦できるフィールド。そんな北海道でありたいと思っています。

宮川社長:楽しみで仕方ないですね。

対談の
詳細は
こちら→

ラピダス、パイロットラインが稼働!

次世代半導体の開発、量産をめざすラピダス社が4月、試作品を生産するためのパイロットラインの立ち上げを開始しました。ラピダス社の小池淳義社長、北海道大学の齊藤清博総長、鈴木直道知事の3人が現地を訪れ、今後の抱負を語りました。

小池社長は、新たな半導体が消費電力で優れたものになるとしながらも、「一番大事なことは真に人々が豊かになること」と述べた上で、「半導体をきっかけに、あらゆる分野の北海道の産業が拡大していくことが大事」と語りました。

半導体製造工程の実習プログラムを立ち上げ、道内の大学や高等専門学校に提供していくことを目指す北大の齊藤総長は、「地域貢献のためには、半導体をつくる人材だけではなく、医療や農業など多くの産業と半導体利用をつなげてくれる人材を育てたい」と強調。鈴木知事は、「製造、研究、人材育成が一体となった拠点を北海道につくる形がしっかりと見えてきている」と話し、さらなる連携強化を呼びかけました。

